



組曲「雪明りの路」

指揮 上木 義和

多田 武彦

春を待つ

伊藤 整

梅ちゃん

月夜を歩く

白い障子

夜まはり

雪 夜



組曲「雪明りの路」を書いて

多田 武彦

去年、私が関学グリークラブの依頼で組曲「中勘助の詩から」を書いた時、その動機の一つとして関学グリークラブの数少ない短所を補うべく……と云うことを云った。具体的に云うとそれは機嫌練習、安定したハーモニー、見事なアンサンブル等の数多い長所の裏側で若干放置され勝ちな「抒情的表現」と云うことであつた。実際には周知の通り、組曲「中勘助の詩から」に於る関学グリーの演奏は方々で絶讃を博して居たし、私自身もこれ程円熟した演奏を今までできたことはない程であつたが、詩や曲の要求する抒情性には今一步と云う所が足りなかつた。

関学グリーのファンである私は依頼を受けて今年も組曲を完成したが、やはり、いや、前組曲以上に強い抒情性と色彩美を要求する組曲を書いて了つた。

こうした組曲を毎年手掛けられることによつて、関学グリーの演奏の上に新しい発展的一面と伝統が生れてくれれば、これ程嬉しいことはない。

(昭和35年1月 東京にて)

多田 武彦 氏

京都大学在学中同大学合唱団指揮

現在 富士銀行勤務